



秘境駅清掃人

太田信吾監督作品

彼はなぜ闘いを続けるのか？

自閉症の青年が見つけた心地よい居場所。
その居場所を守るための必ずしも
心地よいとはいえない孤独な闘い…

<https://www.hydroblast.asia>

STORY

きっかけは一本の電話だった。
本作監督である太田信吾の元に、長野県最南端の天龍村で理容室を営む知人、伊藤からぜひ会ってほしい人物がいる、と。
都会の学校に馴染めなかった太田は、天龍村の自然や人情味ある村の人たちの魅力に惹かれ、高齢化・過疎化が進むその村に、山村留学をしていた経験があった。伊藤曰く、会わせたいその人物はどこかコミュニケーションに癖があるが、毎週のように愛知県から村にやってきては自発的に秘境駅の清掃活動に勤んでおり、最近では週末だけ伊藤の別宅の間借りも始めたという。

親近感からその人物に関心を持った太田は、カメラを手に天龍村へ向かう。そこで出会ったのは27歳の青年・高橋祐太だった。秘境駅は彼にとっての心地よく居場所>だったが、その<居場所>を守るには、必ずしも心地よいことばかりではなかった。崖崩れ、害虫、獣、悪天候…幾多の困難に襲われながらも、孤独な闘いを続ける彼は一体どこへ向かおうとしているのか？青年を追いかけるカメラはやがて彼の壮大な計画を、そして秘境駅にかつてあった暮らしと生活の記憶を映し出してゆく。

<秘境駅>とは、山奥など人里離れた場所に存在し、列車の停車本数が少なく、自動車や徒歩などでのアクセスも難しい無人駅のこと。静岡県・長野県・愛知県の三県を縦断するJR飯田線の沿線には数多くの秘境駅が健在する。本作は、仕事の休みを使い、ボランティアでこれら秘境駅およびその周辺の山道などの整備に邁進する自閉症の青年を追いかけたドキュメンタリーである。

高橋さんが清掃する秘境駅の一つ・小和田駅

1936年12月に開業。浜松市天竜区水窪町の北部に位置し、長野県天龍村や愛知県豊根村に隣接する。1日の平均乗車数は4人。当駅開業当時の小和田集落は水窪の北西の玄関口であり、大津峠を通じて水窪市街地と奥三河・南信濃を結ぶ街道上の要所となっていた。

ダムに沈んだ村

なぜ飯田線沿線には秘境駅化する駅が増えたのか？飯田線の場合、並行する天竜川に平岡（堤高62.5m、中部電力）・佐久間（155.5m、電源開発）の両巨大ダムが建設されたことも秘境駅化する大きな要因となった。駅近くにあった集落が、水没したり線路を付け替えたりを余儀なくされた。1951年に完成した平岡ダムでは平岡～為栗間の線路が移設され、途中の遠山口駅が廃止。1956年完成の佐久間ダムでは旧富山村などで計296世帯が移転し、小和田駅の最寄りだった佐太集落も水没した。

高橋さんが自覚する自閉症の症状

「思いついたことをすぐ行動（発言）する傾向があります」
「あいまい（抽象的）な表現の理解が難しいです」
「ものごとを理解（解釈）したり身につけたりするのにとても時間がかかります」

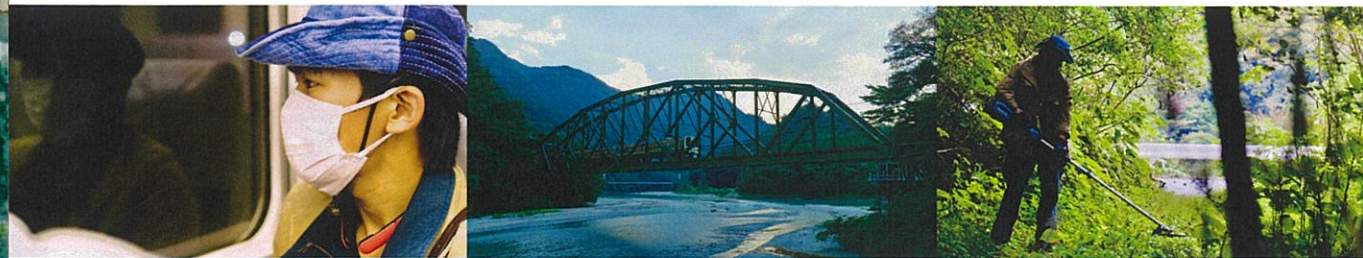


高橋祐太
小幡季輪 大塚浩司 佐藤裕一
大平登 川上正明 伊藤喬次 伊藤裕子
長野県下伊那郡天龍村の皆さま
静岡県浜松市の皆さま
天龍村役場の皆さま
高橋家の皆さま

映画『秘境駅清掃人』[20min/4K/Streo/Color]

監督・撮影・編集・録音・プロデューサー：太田信吾
撮影・録音：内田元也 プロデューサー：竹中香子
車両・現地コーディネーター：村澤雄大 車両：内田愛香
協力：飯塚諒 太田耕治 太田朋子 川上正明 兼宗真 神川靖子
坂本真夫 坂本福美 渡邊美津子 飯田カネト合唱団事務局
チラシデザイン・切り絵：直井恵 アートディレクション：竹中香子
企画協力：伊藤喬次 伊藤裕子 機材協力：ティアック株式会社
撮影協力：株式会社アイシン 信州松代ラウンドトレイル 天龍村役場
特定非営利活動法人北信濃トレイルフリースタイルの会
水窪の星の駅 碧・AOI 南信州観光公社 湯の島温泉

企画・製作・制作プロダクション：ハイドロブラスト
文化庁「ARTS for the future 2」補助対象事業
<https://www.hydroblast.asia/>



記録映画「秘境駅清掃人」上映会 / 東アジア文化都市 2023 静岡県認証プログラム

【日程】2023/12/23(土)

【会場】アクトシティ浜松

【時間】11:00～ *上映時間 20分 +挨拶 10分程度

〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町 111-1

チケット購入は
こちらから↓

